

公益財団法人太宰府メモリアルパーク納骨堂（陽光院）使用規定

第1条（使用規定）

この規定は、公益財団法人太宰府メモリアルパーク（以下「本霊園」もしくは「管理者」という。）の納骨堂（陽光院）の使用について定めたものです。

第2条（使用目的）

本霊園の納骨堂（陽光院）には、焼骨の収蔵（改葬を含む）以外の目的には使用できません。

第3条（使用資格）

本霊園の納骨堂（陽光院）は、国籍、宗教等の如何を問わず、使用することができます。

- 2 申込人が反社会的勢力（「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第2条に定める暴力団、指定暴力団、暴力団員及びこれらの関係企業または団体等をいう。）に該当しないこと。

第4条（永代使用料及び管理料）

本霊園の納骨堂（陽光院）を使用される方は、別に定める永代使用料及び本霊園の維持管理に要する費用として管理料を納入していただきます。ただし、管理料のうち1割は本霊園の運営費に充当します。

管理料は契約時に契約日の翌月から契約年の10月31日までの分を前納し、その後、毎年1年分前納していただきます。なお、管理料の計算は11月1日を基準日とします。

使用者個人の納骨壇の維持管理に要する費用はこの管理料には含まれません。使用者自身で納骨壇の維持管理をしていただきます。

第5条（納骨堂の納骨壇の所有権及び永代使用权）

本霊園に永代使用料を納入した使用者には、納骨壇の永代使用权を貸与します。納骨壇の所有権は本霊園に帰属します。

永代使用权は、管理料の納入が継続されている間、使用者が本霊園の納骨壇を永代的に使用することができる権利です。

第6条（永代使用貸付証）

永代使用貸付証は、永代使用料及び管理料の納入後に発行いたします。

永代貸付証を紛失又は汚損された場合、記載内容に変更が生じた場合は、それぞれ本霊園規定の手数料を納め、再交付を受けて下さい。

第7条（諸届けの義務）

使用者は、住所等の届出事項に変更が生じた場合は、速やかに指定の書類で提出するものとします。

第8条（補償又は補修）

使用者が、その責に帰すべき理由により隣接する納骨壇に迷惑を及ぼした場合、納骨壇その他を損傷した場合は、使用者の責任と負担により補償又は補修していただきます。

- 2 使用者が第3条第2項に該当した場合は直ちに契約解除することができ、その解除に伴う費用及び損害の賠償の責一切を使用者が負います。

第9条（焼骨の納骨）

焼骨を納骨するときは、本霊園に事前に届け出て、法令の定める市町村長の発行する埋葬許可証、改葬許可証又は火葬許可証に本霊園所定の埋葬許可申請書をそえて、確認を受けるとともに別に定める埋葬手続料・納骨立会作業料を納入していただきます。

焼骨を納骨するときは、本霊園の職員が納骨立会作業をおこないます。

第10条（遺体埋葬の禁止）

公衆衛生上、本霊園には遺体の埋葬はできません。

第11条（火器の使用禁止）

本霊園の納骨堂（陽光院）では、指定された場所以外での火器の使用を禁止いたします。

第12条 (衛生管理)

本霊園の納骨堂(陽光院)では衛生管理に適さないものを供えることはできません。

第13条 (永代使用料、管理料の返却)

払い込み済みの納入金は以下の場合に限り返金します。

- ① 未使用であって契約後3か月未満のとき 納入金の90%
- ② 未使用であって契約後3か月以上3年未満のとき 納入金の50%

管理料は未経過月数分を返却します。いずれの場合も、本霊園の所定の手続きを経た後に、永代使用貸付証を返還していただきます。

第14条 (永代使用权の取消し)

1 下記のいずれかに該当するときは、納骨堂(陽光院)の永代使用权の使用を取消します。

- (1) 使用者が納骨壇を、本来の目的以外の用途に使用したとき。
- (2) 使用者が有償無償に拘わらず、第三者へ譲渡又は転貸したとき。
- (3) 使用者が死亡し、祭祀の承継人がいないとき。
- (4) 使用者が毎年納入する管理料の未納が3年に及んだとき。
- (5) その他、本使用規定に違反したとき。

2 前項の各号により、永代使用权が取り消されたときは、本霊園は永代使用权が取り消された納骨壇の焼骨を任意の場所に改葬し、納骨壇の祭祀物等は撤去処分いたします。

3 本霊園は、第1項各号により永代使用权を取り消した納骨壇を、新たな利用希望者に対し、再び永代使用权を貸与することができます。この場合、永代使用权を取り消された納骨壇の使用者及びその利害関係者は、本霊園に対し異議を申し立てることはできません。

第15条 (無縁仏の祭祀)

前条規定により、永代使用权を取り消された納骨堂の焼骨の祭祀は本霊園がいたします。

第16条 (永代使用权の承継)

納骨壇の永代使用权は相続により承継することができます。その際にはあらかじめ本霊園に届出、所定の手続きを経て、永代使用权の承継の承認を受けていただきます。第三者には譲渡できません。

第17条 (納骨壇の返還及び帰属)

使用中の納骨壇が不要になったときは、使用者は自己の責任で納骨壇を原状に復し、永代使用貸付証及び返還理由書を添えて納骨壇の永代使用权を返還していただきます。返還された納骨壇の永代使用权は本霊園に帰属します。万一、使用者が納骨壇を原状に復さないときは本霊園が使用者に通知して、本霊園内の任意に定める場所に焼骨を改葬することができ、納骨壇の祭祀物等を撤去処分いたします。なお、これに要した費用は使用者の負担とします。

第18条 (不可抗力による事故の責任)

天災地変など不可抗力による納骨壇の損害及び盗難、事故等、第三者による加害行為によって生じた被害について、本霊園においては一切その責任を負いません。

第19条 (規定に定めない事項)

前各条に定めない事項が生じた場合については、法令に則り協議して決めます。

第20条 (規定の改訂)

「墓地埋葬等に関する法律」等が改正された場合など、使用者の一般の利益に適合するときや契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるときには、個別の合意なく本規定を変更することがあります。この場合は、本霊園のホームページに変更した旨及び変更の内容を公開します。

平成 29 年 09 月 28 日 改訂

平成 29 年 11 月 22 日 改訂

令和 05 年 04 月 27 日 改訂

公益財団法人太宰府メモリアルパーク 御中

私は、本規定を確認し、また、重要事項については逐条の説明を受けて理解したうえで、下記表示の納骨壇の使用の申し込みを行い、貴法人の使用許可をもって契約が成立したことを認めます。

使用に際しては、本霊園が祖先を敬う尊い場所であることを認識し上記規定を遵守します。

年 月 日 使用納骨壇 区 番 号

使用者住所

使用者氏名

印